

平成23年度を迎えて

歴史と文化の街、羽曳野を見渡すこの高台にある峰塚中学校に、4月6日に315名の新入生を迎え、2年生312名、3年生307名の計934名で平成23年度の新学期を迎えました。

本校は昭和48年、学校周辺の人口増加に伴い、羽曳野市立誉田中学校より分離、開校されました。38年の歴史の中で、13,026名の多くの先輩が学び、卒業し、全国各地で活躍しています。

開校以来、

一人ひとりの人権を大切にする仲間づくりをめざし、日々の活動に自主性を持って取り組む生徒を育成する。

の教育目標のもと、生徒、そして保護者・地域の方々の惜しみないお力添えで培われてきた伝統を、今日も在校生がしっかり受け継ぎ、自らの目標に向かって日々の生活の中で一生懸命に取り組んでいます。私たち教職員も、生徒たちの思いが実現できるように、心と力を合わせ、一人ひとりの成長を支えて参りたいと考えています。

新学期を迎えて、生徒たちには二つの目標を話しました。

「命を大切に、そして温かい気持ちをもって生活していこう」

「頑張り時を逃さず、何にでも挑戦しよう」

生徒、教職員合わせて約1,000人が一緒に生活するには、力を合わせることと思いやりを大切にすることは、絶対忘れてはならないことです。この事は、昨年から峰塚中学校が目指している集団づくりと深くつながっています。また、何事にも挑戦して欲しい。挑戦して初めて出来るかできないかがわかるのです。それができる『今』という時期を大切にしてください。

「思いやりの気持ちを大切にする」「一人ひとりが全力を出し切る」そんな峰塚中学校を作っていこうと話しました。

今後も保護者のみなさま、地域のみなさまとともに、生徒を中心におき、連携を深めながら、生徒たちの指導や支援に全力で取り組んでまいります。

みなさま方のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年5月

羽曳野市立峰塚中学校
校長 中野 秀夫